

第38回中国文化セミナー開催のご案内

日中建築住宅産業協議会
交流委員長 関本 暁

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今回開催いたします「中国文化セミナー」は、一般社団法人アジア芸術文化促進会主催の「アジア芸術文化促進会プレビュー公演『王文強の「変面の世界」』を観劇いたします。

中国伝統芸能の「絶技」と呼ばれる変面は、次々と一瞬で変わるお面で劇中の登場人物や心情の変化を表しており、その技の秘密は国家機密と言われています。現在では四川省を代表する伝統芸能として発展し、日本のTVやマスコミでも多く取り上げられています。


出演者の王文強氏は、現在、一般社団法人アジア芸術文化促進会の代表を務められています。また、2016年3月に行われた当協議会の「第34回中国文化セミナー」でも講師をお務めいただきました。

普段あまり見る機会のない「変面」を観劇し、中国の伝統芸能について触れる事ができる貴重な機会になると思います。皆様是非ご参加ください。

今回は、一般の観劇者もいらっしゃる都合上、人数制限をもうけさせていただきますので、ご参加いただきます方はお早目にお申込みをお願いいたします。

敬具

【 記 】

- | | | |
|----------|--|---|
| 1. 日 時 | 12月21日(火)14:00～、12月22日(水)14:00～
※上演時間:85分(休憩含む)
※夜の部(12/20(月)19:00～・12/21(火)19:00～)を
ご希望の方は、別途事務局にご相談下さい。 | アクセス MAP
 |
| 2. 場 所 | 銀座博品館劇場
(東京都中央区銀座8-8-5) | |
| 3. タイトル | 日中国交正常化50周年特別企画・アジア芸術文化促進会プレビュー公演
『王文強の「変面の世界」』 | |
| 4. 出 演 者 | 王 文 強 氏 (一般社団法人アジア芸術文化促進会 代表) | |
| 5. 参 加 費 | 1,000円/人 (残りは事務局負担) | |
| 6. 定 員 | 30名 (定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい) | |
| 7. 締め切り | 令和3年11月26日(金)必着 | |

8. 申込みについて

最終ページの参加申込書にご記入の上、メールかFAXにてお申込みください。

※ご参加いただく皆様には、日程が近付きましたら詳細地図・緊急連絡先など、別途お送り致します。

<公演概要>

日中国交正常化 50 周年特別企画・アジア芸術文化促進会プレビュー公演
『王文強の「変面の世界」』

- ① 「変面 Show up ショー」(構成・振付：王文強・清光みゆき)
- ② 映像作品「東京の現代風景と変面」(構成：山本晶)
- ③ 変面一人芝居「マスク氏の冒険」(作・演出：加藤直)

<公演企画のねらい>

- ① 「変面」は約 300 年前に『川劇』という地方劇の中で演出技巧の一つとして発案されたものですが、その後は芝居に用いられなくなり、瞬時に変わる変面の部分のみがショー化され、今日に至っています。
- ② 日中国交正常化 50 周年記念の機会に、「変面」の原点に立ち戻り、しかも現代劇に変面を取り入れるといった今まで舞台人が成し得なかった試みを計り、また伝統的なショーにも新たな創意工夫で「新しい変面ショー」のありようを探る画期的な公演を目指しております。
- ③ 「変面」は中国の国家機密。その仕掛けを知ることができない日本のスタッフと中国の伝統芸能俳優の日中共同コラボによる本公演は、先駆的な役割を果たすものと確信しております。
- ④ 先ずは 12 月にプレビュー公演として試み、さらに手直しして来年の本公演後、中国公演を実施、さらに世界各国で上演する計画です。

<作品について>

- ① 「変面 Show Up ショー」では、伝統的で一般的な変面ショーの中に現代的でコミック風な要素を取り込んだ新しい変面ショーです。
- ② 「映像作品・東京の現代風景と変面」では、日本の風景と変面の親和性を追い求め続けている王文強の世界観を映像化した作品です。
- ③ 今回の公演の目玉作品「変面一人芝居・マスク氏の冒険」では、「変面」を現代劇にどのように融合させるか、また長年様式的な表現をしてきた中国の伝統芸能俳優が日本語で、しかも現代劇に取り組んだ作品です。
- ④ 『マスク氏の冒険』は仮面劇・音楽劇などで定評のある加藤直の書き下ろし・演出作品。仮面売りのマスク氏が「仮面を被るべきか取るべきか。でも仮面を被れば何かが起こる」と夜の都会をさ迷い歩く…現代社会の孤独・欲望・滑稽さなどを扱った作品で、中国では珍しい「一人芝居」です。

■王文強プロフィール

1986年生まれ。12歳より中国伝統劇を学び、安徽省桐陵市芸術院の黄梅劇役者として舞台経験を積み、2009年から国立中国戯曲学院で創作法や演出法を学ぶ。

2014年に来日。日本大学大学院芸術学研究科舞台専攻に入学、京劇と歌舞伎などの古典芸能研究を行う傍ら国際文化交流などに関心を抱き、2018年に「一般社団法人アジア芸術文化促進会」を設立。日中青少年交流活動などアジアの文化交流に尽力している。

主な出演作品：日中合作劇「羅生門」（2019年）、長崎孔子廟「文化的な夜遊び」（2020年）、ワンアジアフェスティバル（2021年）など多数。

現在、アジア芸術文化促進会代表、豊島区国際アートカルチャー特命大使・日本微商協会理事。

■加藤直プロフィール（変面一人芝居「マスク氏の冒険」作・演出）

70年「68/71 黒色テント」（現黒テント）の創立に参加。劇団での作・演出活動を中心に、80年代中頃からは劇団外でも、オペラ、演劇、ミュージカル、コンサート、合唱と多岐にわたる活動を開始する。95年同劇団を退団。ホリプロミュージカル「ピーターパン」、「沢田研二 ACT シリーズ」などのロングランを重ねたエンターテインメント作品を手掛ける一方で、『ひかりごけ』（神奈川芸術文化財団）、『罪と罰』（新国立劇場）など多彩なオペラづくりにも取り組む。また「オペラシアターこんにゃく座」などの先見的な集団と長期的にわたってオリジナルオペラや合唱オペラなどの合唱劇作りにも取り組み、特に仮面を使うコメディ・デラルテの道化芝居『アルレッキーノ』はロングラン作品となり話題を集めた。

2010年から松本市民芸術館で「まつもと演劇工場」工場長を務める一方、公演作品『西遊記』などで積極的に仮面を使い、独自の仮面劇作りにも挑戦している。

近代における「表現」のあり方を検証していく鋭さとともに、物語を俯瞰しながらも暖かくみつめ、知的なスラプスティックに仕立てていく丁寧な作品づくりに定評がある。

著作：戯曲『シュールレアリズム宣言』『ガリガリ博士の異常な愛情』（いずれも而立書房）他。翻訳に『絵本 ジョン・レノンセンス』（晶文社）他。オペラシアターこんにゃく座作品で芸術祭賞受賞。

■アジア芸術文化促進会

2018年、王文強・山本品により設立。『芸術文化は国境、宗教、人間の心の壁をも超える』という信念のもとに、アジアの芸術文化・伝統芸能を通じて、人間同士の繋がりが深まる社会創りに貢献したいと、イベント企画、創作活動、アジアの子供たちとの交流などの活動を展開している。

